

愛知大学総合郷土研究所主催
2017年度 第1回公開講演会



江戸時代の地方役人と村人の日常的日々 —「三河国八名郡岡部藩半原陣屋御用状留帳」を読む—

入場無料
予約不要

中世・戦国時代は、戦国大名・自治都市・一揆などいきいきと描かれることが多いですが、それに比べて近世・江戸時代は人々も日々辛い生活を送り、飢饉や一揆が頻繁に起きたという暗いイメージがあります。この講演では、領主と村人がお互いを配慮しつつ協調していたことを、地方役人の記録から読み解いていきます。

講師 神谷 智
(総合郷土研究所所長、文学部教授)

場所 愛知大学豊橋校舎6号館1階610教室

2017年
7.22 Tue
13:30-15:30

※当日会場にてブックレット26『江戸時代の地方役人と村人の日常的日々—「三河国八名郡岡部藩半原陣屋御用状留帳を読む」—』を販売する予定です。

愛知大学
AICHI UNIVERSITY

愛知大学総合郷土研究所
〒441-8522 豊橋市町畑町1-1
TEL 0532-47-4160
Mail kyodoken@ml.aichi-u.ac.jp

